

スバルインプレッサ GU系助手席

該当車種の助手席交換時は、本製品（MMU）の他に別売のサイドエアバッグキャンセラー 2.2 オーム（品番：A52NPO）が 2 個必要です。

BRIDE メモリーマネジメントユニット (MMU) 取付説明書

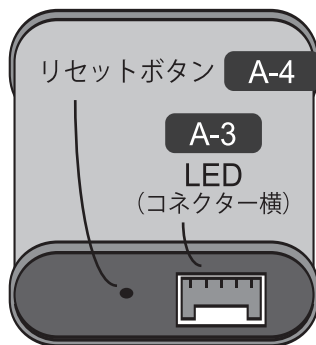
Ver. 2026.4.17

本製品は、純正シートの助手席側に乗員検知・制御システムが備わっている車両の助手席シート交換時に起こる、車両側のエラー・警告灯表示を回避・消灯するためのユニットです。



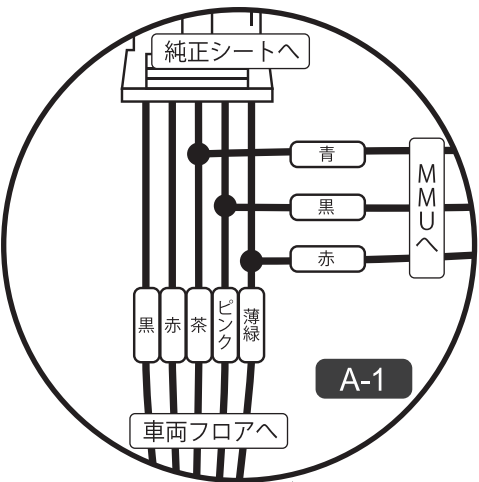
シート交換に特殊な手順が含まれますので、本書に記載の内容に従って作業を行ってください。シート交換後も本書を大切に保管しておいてください。シートの車両への出し入れは 2 人以上で行ってください。

本体 (MMU)

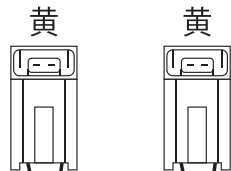


一旦コネクターを外しても良いが
手順 2 の前には必ず元通りに
車両側配線と接続しておく

A-2



純正シートに接続
されているコネクター



グレー

接続 ↑

車両フロアから



本製品は BRIDE シートへの交換を目的にしています。本製品の使用を使用しても、すべてのエラー・警告灯の表示を回避できない場合があります。

シートベルトリマインダー・エアバッグ・その他の車両に備わる機能の正常な動作を保証するものではありません。

シート交換作業中およびシート交換後に起こるエラー内容によっては、カーディーラーにてリセット等の作業が必要になる場合があります。弊社ではその費用負担、作業を行うことはできませんのであらかじめご了承ください。

1. MMU を車両へ接続

車両のイグニッションを OFF にしてください。純正シートを車両に残し、車両から純正シートにつながっている各配線はつないだまま、メモリーマネジメントユニット（以下 MMU）の配線を車両側の配線から分岐接続します。（接続不良防止のためハンダ付けを推奨） **A-1**

シートの裏側で作業しにくい場合は、純正シートをフロアに固定しているボルトを外し、シートの前側を浮かせます。細いマイナスドライバーなどを使って、純正シートの裏側のコネクターが固定されているステーからコネクターを外すと作業しやすくなります。作業のために一旦コネクターを抜いても構いませんが、次の手順の前に再接続しておきます。 **A-2**

2. MMU へ車両情報をメモリーする

純正シートと車両側配線と MMU の全てを接続した状態で、イグニッションを ON にすると MMU の LED が点滅します。

（2 回点滅を繰り返します） **A-3**

点滅を確認したら、イグニッションを OFF にします。

これでメモリー完了です。これ以降シート交換完了までイグニッションを ON にしないでください。ON にしてしまうと車両側コンピュータにエラーが残ったり、警告灯が点灯してしまうなどの場合があります。LED が点滅しない場合は、接続に問題があるか、既にメモリーされている可能性があります。（再メモリー方法は裏面へ）

スバルインプレッサ GU系助手席

(表面の続き)

再メモリー方法 (純正シートが必要です)

手順 1~2 でメモリーに失敗した場合や、使用する車両が変わった場合などは、MMU のメモリーを書き換えする必要があります。

純正シートと車両と MMU をすべて接続 (手順 1) し、リセットボタンを押しながらイグニッションを ON にします。 **A-4**

再メモリーされると LED ランプが 2 回点滅を繰り返しますので、イグニッションを OFF にします。

3. 純正シートの取り外し

(この間もイグニッションを ON にしないでください)

MMU は車両側の配線に接続したまま、純正シートにつながっているコネクタを 3 カ所外し、純正シートを外します。(車両のグレードやオプションにより異なる場合があります) MMU はシート下の、前後スライドで挟まれない位置に置きます。

4. サイドエアバッグキャンセラーの取り付け

(この間もイグニッションを ON にしないでください)

車両側の配線のうち、純正シートに内蔵のサイドエアバッグ・センサーに接続されていた配線 (黄色コネクタ 2 個) にサイドエアバッグキャンセラー (別売) 2 個をそれぞれ接続します。(接続不良防止のためハンダ付けを推奨) **B-1**

5. BRIDE シートの準備

シートレールを組み立て、シートレールにシートを取り付けます。純正シートからシートベルトキャッチを (カプラーまでの配線ごと) 外し、シートレールのステーに取り付けます。

(シートレールの取り付け説明書を参照ください)

6. シートを車両へ取り付け

(この間もイグニッションを ON にしないでください)

シートを車室内へ入れ、各配線を接続していきます。シートベルトキャッチの配線を車両側へ接続します。

(接続不良防止のためハンダ付けを推奨) **B-2**

着座センサーからの配線をコネクタで MMU へ接続します。 **B-3**

シートレールを車両フロアへ固定します。

7. 正しく動作するか確認する

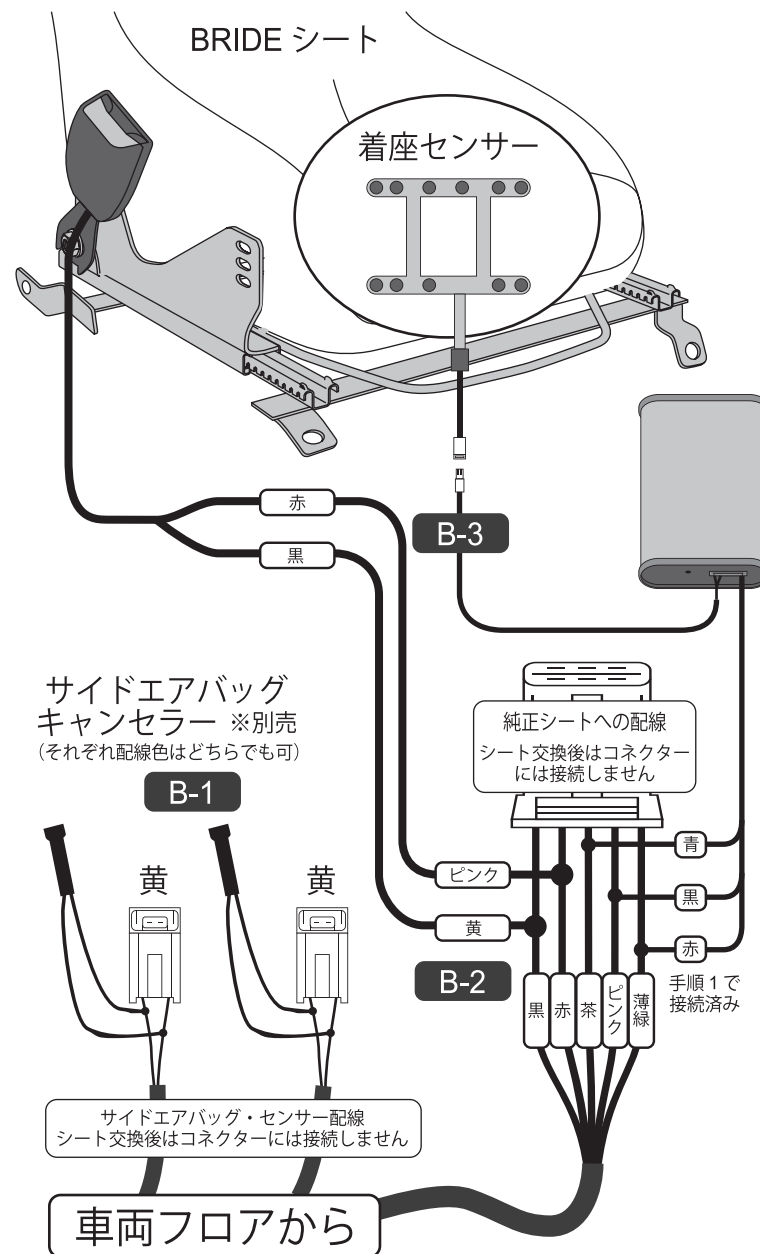
(安全のため、車両を走行させずに確認してください)

イグニッションを ON にして 10 秒程度待ち、車両のメーターパネル・ダッシュボードに、エアバッグ警告灯、シートベルト警告灯が点灯しないことを確認します。

シートベルトを装着せずに助手席に座り、シートベルト警告灯が点灯することを確認してください。その状態でシートベルトを装着し、警告灯が消灯することを確認してください。

シート下にある MMU を覗き込み、LED が点灯していれば正常に動作しています。点灯しない場合は、MMU が正しく接続されているかを確認ください。

上手くいかない場合は、(手順 1) (再メモリー方法) を順に再度お試しください。



BRIDE CO., LTD. ブリッド株式会社

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号

電話.(052)689-2611 <http://brideseats.com>